

令和5年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

中国ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて9頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

問題 1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事において生産性の向上を図る。
2. 建設工事において品質面で質の高い施工を確保する。
3. 建設工事においてコスト面で質の高い施工を確保する。
4. 建設工事において衛生面で質の高い施工を確保する。

問題 2 登録基幹技能者の評価・活用に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 優良技能者認定制度には、上級職長手当制度がある。
2. 優良技能者認定制度には、ベターリビング制度がある。
3. 優良技能者認定制度には、C社認定職長手当制度がある。
4. 優良技能者認定制度には、D社マイスター制度がある。

問題 3 キャリアアップカードに関して、最も不適当なものはどれか。

1. レベル1のカードの色はホワイト。
2. レベル2のカードの色はブルー。
3. レベル3のカードの色はシルバー。
4. レベル4のカードの色はブラウン。

問題 4 登録基幹技能者に求められる職務遂行上の能力区分のうち企画力・開発力・折衝力・調整力に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 職務に係る技術提案等を積極的に行い、全体の成果に結びつけることができる。
2. 施工計画の策定に参加し、計画に係る諸事項の決定及びその管理方法について、提案することができる。
3. 施工現場の直接窓口として、常に他業種とのコミュニケーションに心掛け、信頼関係の中で折衝、調整を行い、工事を円滑に推進することができる。
4. 近隣住民並びに他現場の技能者たちとのコミュニケーションに気を配り、常に相互信頼の中で話し合いの雰囲気づくりができる。

問題 5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 約束を守る。
2. 計算力がある。
3. 決断力を持って行動する。
4. 理屈を言う前に実行する。

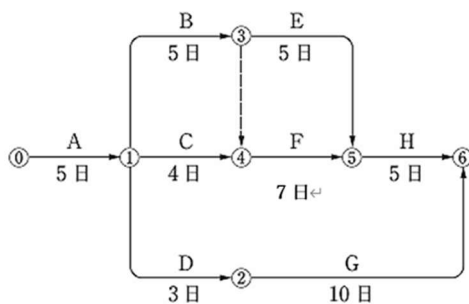
問題6 登録基幹技能者が担うべき指導・教育、自己啓発に関して、最も不適当なものはどれか。

1. OJT は、職場の上司が部下の育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育である。
2. OFF-JT は、日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育である。
3. OJT は、Over the Jet Training のことである。
4. Off-JT は、Off the Job Training のことである。

問題7 登録基幹技能者としての法令遵守に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 労働者派遣契約とは、自己が雇用する労働者との雇用関係を維持したまま、その労働者を他者の指揮・命令下において従事させることである。
2. 建設業務に対する労働者派遣は認められている。
3. 建設業において、実態としては「労働者派遣契約」であるケースがある。
4. 常に請負の要件に配慮し、労働者派遣の実態とならないようにすることが必要不可欠である。

問題8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表のクリティカルパスは、A→B→F→Hである。
2. この工程表の工期は、22日である。
3. 作業Eのトータルフロート（余裕日数）は、2日である。
4. 作業Fの最早開始時刻（EST）は、5日である。

問題 9 わが国の建設業における労働災害減少の要因に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 安全関係法規の整備があげられる
2. 安全に作業するための設備として足場の手すり先行工法の採用があげられる
3. より安全な施工法の確立があげられる
4. 有人化・小型化の促進があげられる

問題 10 施工計画と施工管理に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 登録基幹技能者としての職務を遂行するためには、施工計画作成の目的、施工管理の内容について、その全体像を知っておくことが重要である。
2. 施工計画作成の目的は、5つの施工手段（5M）を用いて、発注者の要求する品質以外の工事目的物を完成させ、工期内に収めるための施工方法を決定することである。
3. 施工管理とは、施工計画に基づいて社会的制約に対する対策や管理を行いながら工事の施工を行い、工程管理・品質管理・原価管理など、工事を管理することである。
4. 施工管理の究極の目的は、品質（より良く）、工期（より早く）、価格（より安く）の三要素に集約される。

問題 11 施工要領書に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 施工要領書は、工事開始前に予想されるさまざまな施工上の問題を、工事の進捗につれてどのように対処すべきかを事前に検討するものである。
2. 施工要領書は、設計図書に明示されていないもの、もしくは各種の事業により明示しにくいものについて、現場条件を考慮・検討して明示する。
3. 施工要領書は、特に経済性と品質の維持向上に重点を置き、現場環境、設備内容、工程等のさまざまな条件を考慮し、適切な施工方法を選定する。
4. 施工要領書は、職長など一部の作業員に周知すればよい。

問題 12 会社経営と工事現場の原価管理に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 請負契約時に、ある程度精度のある見積単価を算出して、利益予測を行う。
2. 見積原価の管理段階では、請負条件を明確にし、不明な点は質疑する。
3. 見積段階から現場条件に合わせた施工計画を詳細に検討し、実行予算を作成する。
4. 実行予算を枠組みとして発注し、資機材や労務を管理して、予算内に納める。

問題 1 3 専門工事業者の原価管理に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 建設業界においては、技能労働者の社会保険加入率が低いことが大きな問題となっているが、技能労働者の処遇改善のため、国を挙げて社会保険の未加入対策が進められている。
2. 国土交通省では、各専門工事業者団体に対して、法定福利費の内訳を明示した見積書の作成を働きかけている。
3. 国土交通省は、「元請負人及び下請負人は見積時から法定福利費を必要経費として適正に確保することが必要」であるとしているが、請負代金については指導していない。
4. 見積書で内訳明示が求められている法定福利費の対象は、健康保険料、厚生年金保険料、雇用保険料のうち技能労働者の事業主負担分である。

問題 1 4 高い品質に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 多くの専門工事業者が分担して施工する建物の品質は、「品質は工程でつくり込む」という考えが重要である。
2. 最終的な品質の高さは、品質の高い工程を積み上げることで実現できる。
3. 前工程に不具合があっても、後工程で直せば問題はない。
4. 発注者を始めとして、建設コンサルタント、設計・監理者、総合工事業者、専門工事業者、材料供給業者間で品質の考え方の共有が必要である。

問題 1 5 品質管理QC（Quality Control）に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 部材の強度・寸法等のばらつきを、設計段階から一貫して顧客や社会の要求条件を満たすようにコントロールするプロセスを品質管理と呼ぶ。
2. 品質管理とは、「経済性を無視して、買い手の要求に合った品質の物又はサービスを作り出す」こと、と定義されている。
3. 「経済的につくり出す」ためのカギは、品質のばらつきがランダムに発生する（一様分布）のではなく、正規分布にしたがう特性に着目することである。
4. 建設現場において統計的・客観的・分析的な視点からQC 7つ道具を活用して、効率的にQC活動を行うことができる。

問題 1 6 建設業法令ガイドラインに関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 建設業の担い手を確保するために、処遇改善等を通じて建設業への若年層の入職者を促進することが必要であるが、民間だけが元下請間の取引適正化に取り組んでいる。
2. 赤伝処理等による一方的な差し引き等、下請負人へのしわ寄せによって技能労働者への適正な賃金水準が確保できず、建設業が持続的発展の阻害要因となっている。
3. 「建設業法令ガイドライン」は、元請下請間の建設業法に違反するかを具体的に示して、法律の不知による法令違反行為を防ぐことを目的としている。
4. 「建設業法令ガイドライン」は、元請負人と下請負人との対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることを目的としている。

問題 1 7 墜落制止用器具に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 厚生労働省では、安全帯の名称を「墜落制止用器具」に改め、その名称・範囲と性能要件などを見直している。
2. 特別教育を新設し、墜落による労働災害の防止のための措置を強化したが、墜落制止用器具の安全な使用のためのガイドラインは策定していない。
3. 墜落制止用器具はフルハーネス型安全帯を使用することが使用することが原則となり、2022年1月2日からは完全施行となっている。
4. 高さ2m以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいては、墜落制止用器具のうちフルハーネス型安全帯を用いて行う作業では、「安全衛生特別教育」を受けなければならない。

問題 1 8 ラス系下地の二層下地通気構法について**最も不適当**なものはどれか。

1. ラス下地板の断面寸法は12mm×75mmを標準とする。
2. 防水紙に使用するアスファルトフェルトは430又は同等の性能を有するものとし、継目を縦、横とも90mm以上重ね合わせる。
3. 平ラスは木造外装用として不適格であるが、ひび割れ防止の補強材としては部分的に使用する。
4. ステープルは足の長さ10mmの1019J程度のものを使用する。

問題 1 9 ひび割れの防止対策として**不適當**なものはどれか。

1. 収縮性の材料を使用した場合、貧調合のこね合わせで使った場合に収縮ひび割れをおこすので適正な調合を行う。
2. 砂が細かすぎた場合には、表面乾燥ひび割れを起こすので、砂の粒度を調整する
3. 下地の吸水不適正や乾燥むらには、ポリマーディスパージョン混入の下地調整材料で下塗りを行って、吸水調整を行う。
4. 下地の不備などを完全に修正してから次の工程に移ることが大切である。

問題 2 0 書籍に関するものとして**不適當**なものはどれか。

1. 書籍「公共建築工事標準仕様書」は、公共建築協会が発行している（国交省監修）の公共建築工事において使用する材料（機材）、工法等について標準的な仕様を取りまとめたもので、建築物の品質及び性能の確保、設計図書作成の効率化並びに施工の合理化を図ることを目的としており、改定周期は5年である。
2. 書籍「建築工事標準仕様書・同解説」は日本建築学会が発行しており、通称「JASS」（ジャス）ともいう。適切な施工標準を作ることを目的として工事の種類ごとに体系づけられ、JASS1 から JASS27 まであり、左官工事は JASS15 となっている。
3. 書籍「左官施工法 2020」は（一社）日本左官業組合連合会が発行しており、JASS15 に整合した平易な内容の副読本として、時代に即応しながらも普遍的な基礎技能と知識を習得することに重点を置いている。
4. 書籍「ラス下地モルタル塗り外壁性能向上のための設計施工指針」は、（一社）日本左官業組合連合会が発行しており、モルタル外壁の設計・施工方法に特化した内容となっており、モルタル外壁の品質管理・信頼性の向上、普及・市場拡大を目的としている。

問題 2 1 既調合しっくい（しっくい）の施工に関するものとして**不適當**なものはどれか。

1. 日本漆喰協会による「既調合しっくい」の定義の一つに、主原料である消石灰は、ドライベース換算での全重量の、上塗り用は 50wt%以上、中塗り用は 30wt%以上含有しなければならないとされている。
2. 既調合しっくいは、粉末状の調合したしっく이가主流だが、保水材、化学繊維などを混合したものや、ペースト状のものなどさまざまな製品がある。
3. せっこうボード下地で上塗りのしっくいを直塗りする工法や、下塗り材の代わりに吸水調整材だけを塗布する工法は、一般に行われている。
4. 上塗りの仕上げ工法は、押え仕上げの他に、なで切り仕上げ、パターン仕上げ、色しっくい仕上げなどがある。

問題 2 2 左官工事の施工品質に関する記述について、最も**不適當**なものはどれか。

1. 下地の吸水が大きいと剥離・ひび割れの要因となるため、4～5 倍に希釈した吸水調整材を塗布した。
2. セメントモルタルにせっこうプラスター塗りの際、モルタルに適度な水分が保持されている方が付着力は高まり、せっこうが馴染みやすい。
3. コンクリート表面は、はく離防止のための目荒らし、清掃を行い、脆弱層は除去する必要がある。
4. P C 板は平滑精度が高いため、左官塗りを施工する部分については、コンクリート打設前に専用シートを用いるなどの付着力強化を検討する。

問題 2 3 セメントモルタル塗り工法の記述について、最も**不適當**なものはどれか。

1. セメントモルタルを練り混ぜてからの可使時間は、冬期で 120 分、夏期で 90 分を目安とする。
2. セメントモルタルの調合は、下地側に塗られるものほど強度を高くする。
3. セメントモルタルの仕上げ厚は、天井、庇が 12mm 以下、その他は 25mm 以下とする。
4. セメントモルタル塗付け後の急激な乾燥により、強度が低く接着力も不十分な塗り層となることは剥離の原因であり、この現象を「ドライアウト」と呼ぶ。

問題 2 4 現代しっくい施工要領（下地）について、最も**不適當**なものはどれか。

1. 木製壁下地に石膏ボードを留め付けるビスピッチは、ボード周辺部で 100mm、一般部で 150mm を推奨している。
2. L G S 壁下地に張り付ける石膏ボードは、床から天井まで 1 枚で張れるサイズを使用するか、ジョイントをずらした 2 枚張りとする。
3. 石膏ボードのスクエアエッジは、突き付け張りとし表面をジョイントテープで補強することで面剛性が高まり、塗り壁の下地に最も適している。
4. ジョイント部で石膏の露出部がある場合には、アクリル系の合成樹脂エマルジョンプライマーの 3～4 倍液を塗布し、吸水調整を行う。

問題 25 用語の定義に関する記述について、最も不適当なものはどれか。

1. レイタンスとは、ブリージングと共に浮上し固化した堆積物であるが、下地強化剤等を含侵させることで上塗りが可能である。
2. 太陽の直射熱や、寒暖等の繰り返しによる温度変化に伴って変形挙動が起こることをサーマルムーブメントという。
3. エフロレッセンスとは、セメント材料成分の水酸化カルシウムが外気との接触によって、二酸化炭素と炭酸化反応を起こし、結晶化した現象である。
4. コンクリート打設の際に、先に打込んだコンクリートと後から打設した層との間が一体化しなかった継ぎ目をコールドジョイントという。